

## 小委員会の調査報告書

教科名	家庭科	委員長名 <u>山本 以久子</u>
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、家庭科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(水)から7月21日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日(月)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、開隆堂、の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
調査研究に当たったことの配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他	<p>○どちらの教科書にもQRコードが付与されているので、有意義に使用するためには、インターネット環境(無線LAN等)や端末機の整備が必要である。</p>	

様式 2

教科名		家庭科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新しい家庭5・6	501	開隆堂	わたしたちの家庭科5・6
取扱内容	<p>○「A家族・家庭生活」については、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、団らんを持つ計画を立てたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々と心のつながりを深めるために工夫できることを考えたりする活動を通して、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。</p> <p>○「B衣食住の生活」については、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「マイ・ミニバッグ」や「エプロン」を製作したりする活動や、第6学年において家族が喜ぶ一食分の献立を考えたり、「トートバッグ」を製作したりする活動を通して、食生活、衣生活、住生活に関する知識および技能を身につけ、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「C消費生活・環境」については、第5学年において目的に合った選び方や買い方を考えたり、環境や資源に配慮した生活を工夫したりする活動や、第6学年において目的や品質を考えた適切な買い方を考える活動を通して、消費生活・環境に関する知識および技能を身につけるとともに、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために小物入れを作ったり、年末掃除の計画を立てたりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「ひと針に心をこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、手ぬいで学習したことを生かして生活をよりよくする様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			<p>○「A家族・家庭生活」については、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々との関わりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動を通して、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。</p> <p>○「B衣食住の生活」については、第5学年において「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「カード入れ」や「ランチョンマット」を製作したりする活動や、第6学年において栄養のバランスのよい一食分の献立を考えたり、「マイバッグ」を製作したりする活動を通して、食生活、衣生活、住生活に関する知識および技能を身につけ、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「C消費生活・環境」については、第5学年において計画的な買い物の仕方を考えたり、目的に合った物の選び方や買い方を工夫したりする活動や、第6学年において環境に配慮した生活について考える活動を通して、消費生活・環境に関する知識および技能を身につけるとともに、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために昼食を作ったり、布を使ってプレゼントを製作したりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「ソーイングはじめの一步」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、手ぬいの知識や技能を自分の生活への工夫に生かす様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして分かりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、児童が達成感や実践する喜びを味わうことができるよう学習内容を27の大題材(45の小題材)で構成し、「自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう」や「手ぬいのよさを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分の献立を立てて、調理しよう」や「計画を立てて、工夫して作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、「A家族・家庭生活」は28ページ「B衣食住の生活」は95ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は5ページ「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は9ページあり、「その他」はなく、総ページ数は、145ページで、前回より約12%増となっている。(判型はA4判)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、児童が達成感や実践する喜びを味わうことができるよう学習内容を22の大題材(59の小題材)で構成し、「生活を支える家庭の仕事」や「手ぬいを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分のこんだてを立てよう」や「目的に合ったふくろを作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、「A家族・家庭生活」は25ページ「B衣食住の生活」は42ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びC消費生活・環境」は4ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は46ページ、「その他」は12ページあり、総ページ数は、137ページで、前回より約20%増となっている。(判型はA B判)</li> </ul>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「環境」「日本の伝統」「日々の備え」などのマークや「資料」「プロに聞く」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、ワークシートを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載し、必要に応じて調べさせたり、「生活を変えるチャンス!」を示すことで、児童の生活の中から課題を見付けられるよう促し、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習の流れ」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「環境」「消費」「防災」などのマークや「参考」「学習内容に関する人」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、チェックリストを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 生活の様々な場面を想起することができる写真や挿絵を掲載し、必要に応じて調べさせたり、「チャレンジコーナー」を示すことで、児童の生活の中から課題を見付けられるよう促し、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習のめあて」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○ QRコードが教科書巻頭にまとめて付与されており、必要に応じて調べることができる。</li> <li>○ 右利きの場合と左きき場合に分けて写真を掲載するなどの配慮がある。</li> <li>○ A4判のため、写真が大きく掲載されており、文字数が多く、読み応えがある。</li> <li>○ 各実習ごとに「できたかな?」のチェック欄が、巻頭には「成長のきろく」が掲載されており、学習の振り返りができるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。</li> <li>○ QRコードが各單元ごとに付与されており、必要に応じて調べることができる。</li> <li>○ 右利きの場合と左利きの場合に分けて写真を掲載している。</li> <li>○ A B判のため、文字数が少ないが、机上の整理がしやすい。</li> <li>○ 各單元・実習ごとに「できたかな」のチェック欄が、数多く掲載されており、学習の振り返りができるようになっている。</li> </ul>